

トラックドライバーの心構え

トラック事故の重大さを認識する

貨物を安全・安心・確実に輸送し、ライフラインを守っていくためには、交通事故を起こさないということが第1条件となります。交通事故は、尊い人の命を奪ったり人を傷つけたりするだけでなく、安全・安心・確実に輸送するという役割も果たすことができなくなります。

トラックは車体が大きく重いため、いったん事故を起こすと規模の大きな重大事故につながりかねま

せん。そのため、事故によっては被害者が不幸な目にあうだけでなく、ドライバー自身も職業運転者としての地位を失うばかりか、会社も経営が悪化するなど、家族や会社を巻き込んで、さまざまな不幸な事態を招くことを認識しなければなりません。さらに、事故による渋滞や通行止めなどの社会的な影響も大きなものがあります。



環境に配慮した運転

「エコドライブ」は、環境保全のために必要なだけでなく、交通事故の防止や運行経費の節減などさまざまな効果をもたらします。とくに、「アイドリング・ストップ」は、エコドライブの中心となるものですから、荷卸しなどの駐停車時には、こまめにエンジンを切るようにしましょう。

エコドライブの効果

1. 燃料費などの運行経費が節減できる。
2. 排出ガスが減少する。
3. エンジンをはじめ部品の消耗が少なくなる。
4. ゆとりのある運転で交通事故が減少する。

エコドライブのポイント

1. おだやかな発進と加速
2. シフトアップは早めの一段上のギアが常識
3. 定速走行の励行
4. エンジンブレーキの多用
5. 経済速度の厳守
6. 予知運転による停止・発進
(ストップアンドゴー) 回数の抑制
7. 無駄な空ぶかしの抑制
8. 必要最低限のアイドリング



運転者の遵守事項

運転者は、乗務員の遵守事項に加えて、次の事項を遵守しなければなりません。

疾病、疲労等により安全な運転ができないおそれがあるときは申し出る。

日常点検を実施し、またはその確認をする。

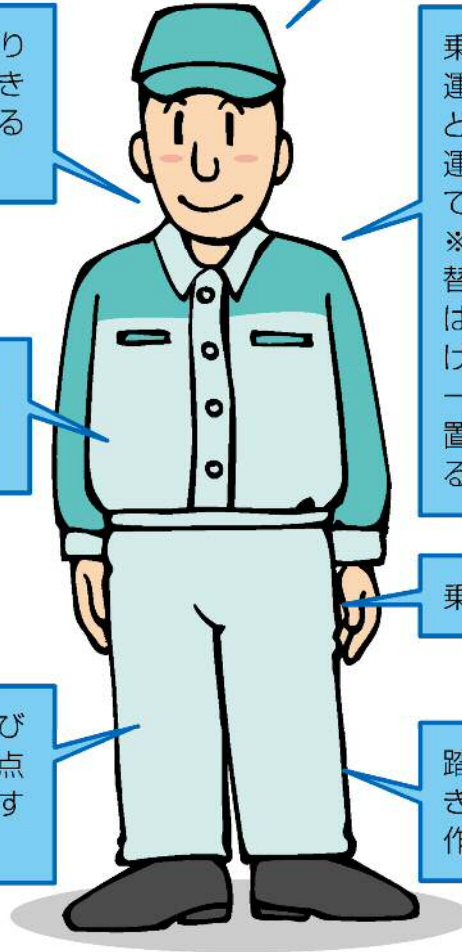
乗務の開始前及び乗務終了時には点呼を受け報告をする。

酒気を帯びた状況にあるときは申し出る。

乗務終了後に他の運転者と交替するときは、自動車、道路、運行の状況について通告する。
※他の運転者と交替して乗務するときは、上記の通告を受け、ハンドルやブレーキ等の重要な装置の機能を点検する。

乗務記録を作成する。

踏切を通過するときは変速装置を操作しない。

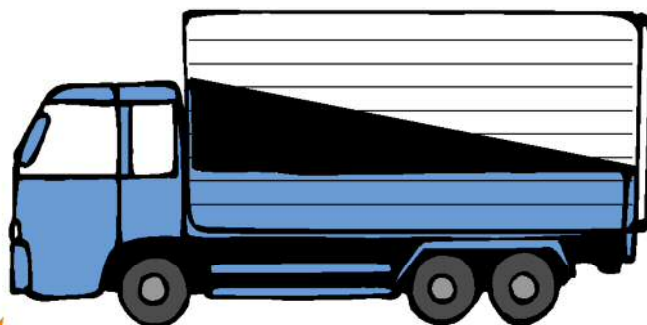


点検・整備を怠るとこうなる!!

1
路上故障の発生や
思わぬ事故を
引き起こします。

2
臨時整備費の発生、
燃費低下などコスト面の
負担を増やします。

3
納期遅れ、積荷の破損など
業務の信用失墜に
つながります。



4
排ガス濃度の上昇、
黒煙排出など、
環境悪化の要因に
なります。

5
トラックのイメージや
運送業界の社会的評価を
低下させます。